

平成 27 年度 学生サークルとの交流会 実施報告

「マイスター/ロボット技術研究会/ロケット研究会との交流会」

日 時： 2015 年 12 月 12 日（土）15:00-19:00

<スケジュール>

15:00-16:10 @生協第 1 食堂 2 階

- ① マイスター（人力飛行機+エコノムーブ（電気自動車））の活動紹介
- ② CREATE の活動紹介

16:20-17:20 @ものづくりセンター近隣

- ③ マイスターと CREATE の製作現場見学

17:30-19:00 @生協第 1 食堂 2 階

- ④ ロボット技術研究会の活動紹介+懇親会

* 参加会員 11 名

* 学生 CREATE 3 名

マイスター 2 名（製作現場では、作業中の学生が数名いました）

ロボット技術研究会 2 名（始めから）+5 名（第 1 食堂 2 階で合流）

参加会員は 11 名と学生（12 名）と昨年とほぼ同数の少ない状況でしたが、その分、密度濃く質疑で、昨年以上に盛り上がった交流会を開催できました。

まず、マイスターの人力飛行機の代表から活動紹介があり、今年の鳥人間コンテストでは翼を長くして低推力飛行性能を向上したが、琵琶湖の横風の影響をより受けて操縦性が不良で飛距離がでなかった。来年向けには横風の影響も考慮した適正翼長として優勝を目指す抱負を語ってくれました。次のエコノムーブ代表も前後輪操舵の改良型電気自動車で競技会の上位入賞を目指すとのことでありました。先輩会員からは、特定機能の最高性能を目指すよりも、各機能の性能バランスを考慮した適正化が良い結果につながる人が多いとのアドバイスもありました。

CREATE では秋田県能代と伊豆大島でロケットを年 3 回打ち上げていることや、従来よりも大型化したロケット先頭が 2 つに割れた失敗経験の紹介がありました。その原因がロケット先頭に発生する圧縮空気の侵入であるので、来年に向けて密封性の改善を図り成功を目指す語ってくれました。先輩会員からは、ロケットエンジンを現状の市販品から自主製作品にする計画について質問があり、サークルでは検討中とのことでした。

上記 2 サークルの活動紹介後に、「ものづくりセンター」の製作現場を見学しました。人力飛行機の骨組みを作るカーボンテープを巻く工程を見学し、作業が交代しながら連続何十時間も行われると聞いて、製造自体がまさしく人力によることを実感しました。

ロボット技術研究会は総勢 250 名を超える東工大最多人数を誇るサークルですが、ロボット製作に限らず、電子工作やゲーム制作など、各人が自由に好きなもの

を作り、NHKロボコン、ROBO-ONE、マイクロマウスなどの大会にも出場し、ROBO-ONE は来年タイで開催される世界大会に日本代表として参加することを目指しています。大勢の部員が活動するには部室が狭いのが悩みです。ロボット技術研究会の活動紹介は生協第一食堂2階で懇親会と並行で行われ、参加者はロボットに親しみを感じながら学生と大いに議論する交流会となりました。

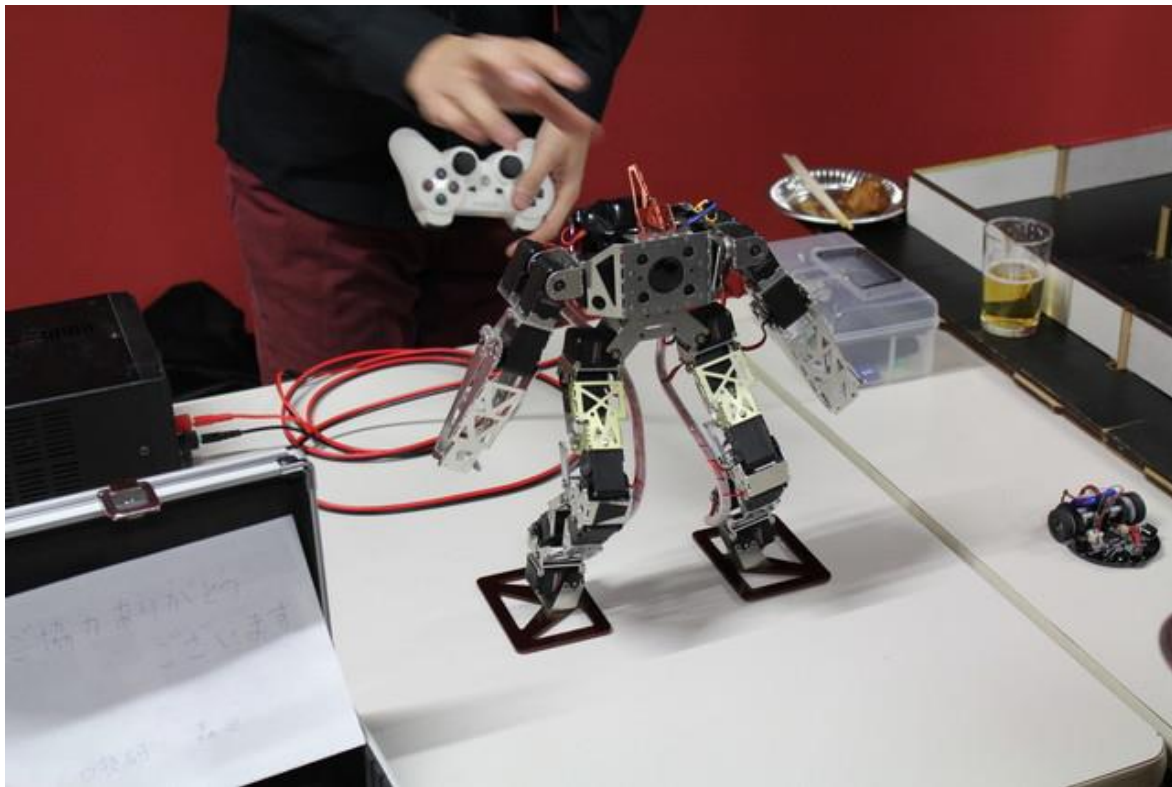
(報告 白星会・文化教養部会長 長田)



マイスターのプレゼンテーション風景（生協第1食堂2階）



製作現場（ものづくりセンター）



ロボット技術研究会のデモと懇親会（生協第1食堂2階）



学生サークル交流会の集合写真（生協第1食堂2階）